



第9回国際産科婦人科連合世界大会

IXTH WORLD CONGRESS OF GYNECOLOGY AND OBSTETRICS

OCTOBER 25-31, 1979
Tokyo, Japan

ご あ い さ つ

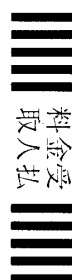
第9回国際産科婦人科連合世界大会の開催は、1979年10月下旬、まだまだ先のことと思っておりますうちに、準備に残された期間はもう2年足らずとなりました。

組織委員会開設以来、各方面からよせられました温かいご鞭撻、ご援助により、着々と準備が進みつつありますのも、ひとえに皆様のご厚情の賜と心から感謝致しますと共に、いよいよ本格的となる今後の準備に対して、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世界中の学者、臨床家が一堂に会して研究発表・討論を行なう意義の極めて大きいことは、いまさら申すまでもありませんが、同時にわが国の学問レベルと人情を国際的に示すのに、これほど貴重な機会もまたありません。世界中の隣人によせる愛情と学問への熱情と誠意あるお互いの協力こそが、大会を成功させる鍵となるであります。アジアで初めて行なわれるこの世界大会に、外国ばかりでなく、国内の多くの皆様のご参加を期待する所以であります。積極的に仮登録を賜りますようお願い申し上げます。

昭和52年10月

会 長 坂 元 正 一
事務総長 東 條 伸 平



料金受
取人払

赤坂局承認

395

差出有効期間
昭和52年12月
31日まで有効

(受取人)

東京都港区

赤坂1-8-10 第9興和ビル

(株)サイマル・インターナショナル内

第9回国際産科婦人科連合世界大会

事務局 行

郵便はがき

107-□□

大会の概要

会 期： 昭和54年10月25日(木)～31日(水)

会 場： ホテル・ニューオータニ

NHKホール(開会式場)

学術集会予定：

	午 前	午 後	夜
10/25(木)	登 録	開会式	ウェルカム・パーティ
26(金)	プレナリー・セッション セミナー フリー・コミュニケーション フィルム・セッション 学術展示など		
27(土)	同 上		ジャパン・ナイト
28(日)		FIGO 総会 教育講演	
29(月)	同 上		
30(火)	同 上		バンケット
31(水)	同 上	FIGO 総会 閉会式	

*このほか、10月24日(水)に、プレコングレス教育講演(有料)が、計画されております。

*10月28日(日)に予定されている教育講演は、国内の産婦人科医のみを対象としたものです。

公用語： 日本語、英語、フランス語およびスペイン語(予定)

昭和52年秋開催される FIGO 理事会で正式に決定されます。

立派な会場、素晴らしい設備

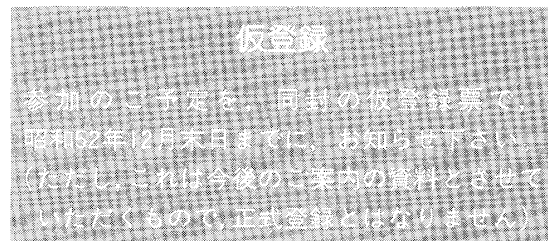
詳細は昭和53年4月頃、セカンド・サーキュラーでお知らせいたします。

機器・薬品展示会

会期中、会場で機器・薬品・書籍の展示会が行なわれます。

社交行事

歓迎パーティ、ジャパン・ナイト、バンケット、婦人プログラムなどの行事が計画されています。



※上記内容はファースト・サーキュラーと同じものです。

ご連絡、お問い合わせは事務局へ

〒107 東京都港区赤坂1-8-10

第9 興和ビル

(株)サイマル・インターナショナル内

第9 回国際産科婦人科連合世界大会事務局

電話 03-582-4224 (代)



第9回国際産科婦人科連合世界大会

仮登録票



(正式登録はセカンド・サーキュラーでご案内いたします。)

ふりがな

ご氏名

電話

ご住所 ㊦

(ご連絡先)

世界大会に ☐ 1人で ☐ 同伴で 参加する

☐ 参加しない

☐ 未定

☐ 論文を提出したい

☐ 学術展示に参加したい

☐ フィルムを提出したい

☐ VTRを提出したい

教育講演

☐ 10月24日(水)

に参加したい

☐ 10月28日(日)

連絡事項

FIGO の頁

(1977年10月)

FIGO 世界大会ニュース

ファースト・サーキュラー First Circular

このインターナショナルな学問の祭典をして、人類の夢を希望に、希望を現実にかえ、生きとし生けるものすべてに、ほんとうの安らぎと幸せをもたらす、場と機会たらしめんことを

ごあいさつ

第9回国際産科婦人科連合世界大会の開催は、1979年10月下旬、まだまだ先のことと思っておりますうちに、準備に残された期間はもう2年となり、刻みつつ去っていく時の足音に心もしまる近頃でございます。

組織委員会開設以来、各方面各位から寄せられました温かいご鞭撻、ご援助により、着々と準備が進みつつありますのも、ひとえに皆様のご厚情の賜と心から感謝致しますと共に、いよいよ本格的となる今後の準備に対して、一層のご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

世界中の学者、臨床家が一堂に会して研究発表・討論を行なう意義の極めて大きいことは、いまさら申すまでもありませんが、同時にわが国の学問レベルと人情を国際的に示すのに、これほど貴重な機会もまたとないでありましょう。アジアで初めて行なわれるこの世界大会に、外国ばかりでなく、国内の多くの皆様の積極的なご参加を期待する所以であります。

世界中の隣人によせる愛情と学問への熱情と誠意あるお互いの協力こそが、大会を成功させる鍵と信じ、皆様とご一緒に本格的な準備に専念して参りたいと存じますので、ご指導ご協力のほど、あらためてお願いしてご挨拶にかえさせていただきます。

会長 坂元 正一
事務総長 東條 伸平

会議の概要

会期：昭和54年10月25日（木）～31日（水）

会場：ホテル・ニューオータニ

NHK ホール（開会式場）

学術・集会予定：

	午 前 : 午 後	夜
10/25 (木)	登 録 : 開会式	ウェルカム・パーティー
26 (金)	プレナリー・セッション セミナー フリー・コミュニケーション フィルム・セッション 学術展示など	
27 (土)	同 上	ジャパン・ナイト
28 (日)	: FIGO 総会 : 教育講演	
29 (月)	同 上	
30 (火)	同 上	バンケット
31 (水)	同 上 : FIGO 総会 : 閉会式	

*このほか、10月24日（水）に、プレコングレス教育講演（有料）が計画されております。

*10月28日（日）に予定されている教育講演は、国内の産婦人科医のみを対象としたものです。
公用語：日本語、英語、フランス語およびスペイン語（予定）

昭和52年秋開催される FIGO 理事会で正式に決定されます。

登録および論文、学術展示への応募

詳細は昭和53年4月頃、セカンド・サーキュラーでお知らせいたします。

機器・薬品展示会

会期中、会場で機器・薬品・書籍の展示会が行なわれます。

社交行事

歓迎パーティ、ジャパナイト、バンケット、婦人プログラムなどの行事が計画されています。

仮登録

参加のご予定を、同封の仮登録票で、昭和52年12月末日までにお知らせ下さい。（ただし、これは今後のご案内の資料とさせていただきますので、正式登録とはなりません。）

ご連絡、お問い合わせは事務局へ

東京都港区赤坂1-8-10 第9興和ビル
〒107

(株)サイマル・インターナショナル内
第9回国際産科婦人科連合世界大会事務局
電話 03-582-4224 (代)

上記のようなファースト・サーキュラーが、お手許に届いたことと存じます。同封した欧文版は、日本以外のFIGO参加国、約80カ国の会員に向けて送ったものです。

世界大会を行なう場合には、普通準備期間中数回サーキュラーを発送し、大会プログラムのおおよその内容の説明や主催地の状況の案内をいたします。ファースト・サーキュラーは文字通り第1

回の世界大会案内状で、私共は、今回これを、日本を含め全世界の産婦人科医に約6万通発送しました。国内の先生方は、本誌2月号から連続して掲載したFIGO世界大会予告によって、ファースト・サーキュラーに載せた大会予定を既にご存知のわけですが、海外の方々は、ファースト・サーキュラーを受取ってはじめて、今度の大会のことを知るわけです。この意味で、ファースト・サーキュラーの発送は、世界大会の広報活動として非常に重要です。

ファースト・サーキュラーには、〔仮登録票〕が同封されています。世界大会に参加する希望がある方は、お忘れなく、この仮登録票に必要事項を記入して事務局に返送し、仮登録して頂きます。国内会員については多少事情が違いますが、国外については、セカンド・サーキュラー以降の資料送付は、原則として仮登録をされた方に限られます。

仮登録は、また、世界大会の準備にとっても重要な資料になります。例えば、仮登録から参加人員や発表演題数がかなり正確に推定できますし、それから会場の規模も具体的に決められるようになります。

以上の次第なので、繰返しになりますが、参加のご予定がある先生方は、仮登録をお忘れにならないようお願いいたします。

登録・広報委員会

第9回 FIGO 世界大会国内広報活動について

光陰矢のごとしと申しますが、第9回国際産科婦人科連合世界大会が、昭和54年10月下旬、東京で開催されることが決定して以来、もはや残された準備期間も2年有余を余すのみとなりました。昭和50年秋、組織委員会が発足以来、各方面各位よりよせられました温かい御支援とご鞭撻とにより、いま着々とその準備が進捗しつつあります。

参加予定人員6,000名にもおよぶこの東京での世界大会は、規模内容ともに類のないものであります。登録広

報委員会は、そのための準備・運営を滞りなく、また実り多いものとするための裏方として、また会員各位に対して、この世界大会の開催意義と、その内容を御理解いただくための広報活動を行なうべく、募金委員会とも一体となり、その準備に力を注いで参りましたが、今後とも一層のご理解とご協力とをいただくため、現在までの国内広報システムと活動経過について御報告いたします。

1) 国内広報担当小委員会の機構

国内広報担当小委員会は、委員長、広報直属委員、大

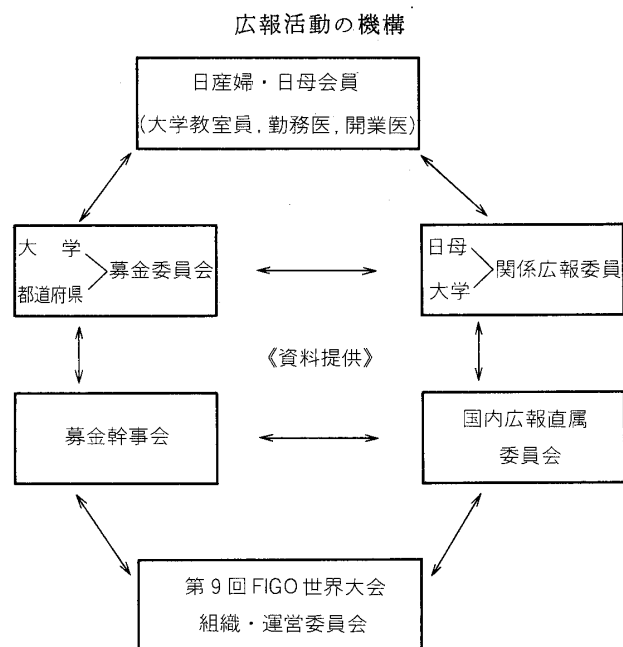
学関係委員、日母関係委員からなりたっております。

広報直属委員会は、登録広報委員長、国内広報担当小委員長に直結し、広報活動の実務を担当いたしております。

大学関係委員は、全国70にも及ぶ各大学会員に対する広報活動を行います。

日母関係委員は、各地区ごとに事情に応じて、日本産科婦人科学会地方部会と日本母性保護医協会支部とが協力して、募金委員会活動と平行して各地区ごとに所属会員を中心に、広報活動を行っております。

以上のご説明内容をわかり易く図示いたしますと、下記のごとくであります。



2) 広報活動の内容、経緯

FIGO とは何か、その開催意義と趣旨、会議の概要等について具体的に会員にご理解をいただくための PR をはじめとして、また募金委員会とも密接に連絡をとり、募金に対するご理解とご協力とを賜わるよう、全会員にお願いすることなどを行っております。

国内広報直属委員会は、登録広報委員長、国内広報担当小委員長、広報直属委員で構成され、組織、運営委員会の意向を受けると同時に、会員各位の声あるいは要望を吸い上げて、業務の円滑をはかるための活動を開始いたしました。

まずはじめに基礎的な準備活動として、シンボルマー

ク、レターヘッドの作製に始まり、昨年は、ファースト・アナウンスメント、FIGO カレンダーの作製、さらに、本年度はファースト・サーキュラー、仮登録票の配布などをおこなってきました。

また学会誌を利用して、昭和50年8月号に第8回 FIGO についての解説コラムを掲載し、本年2月号から、FIGO の頁にその予告と FIGO 関係ニュースを逐次お伝えしております。

また日母医報を利用して、昭和51年3月号から FIGO 世界大会ニュースを連載しておりますが、今後にも必要に応じて関連ニュースを掲載する予定です。

つぎに日母、大学関係広報委員は、各地区、各大学で発行する機関誌、印刷物を利用し、また会合、集会における FIGO の PR など各地区募金委員と密接に連携して、すでに活発な活動を行なっておりますが、その具体的な活動内容は各地区、各大学におけるご事情、特殊性を考慮して、地区担当委員の方々におまかせしております。

各都道府県における広報活動の具体例

1. 川崎市産婦人科医会では、機関誌医会ニュースの中で、FIGO 東京大会開催の意義、ひいてはそれに対する理解と協力とを独自の立場でお願いする旨の記事を掲載し、会員への PR がおこなわれております。

2. 兵庫県では、約600名の会員のうち、25名に1人の割合で運営委員を選出し、地区運営委員会を組織して全員にくまなく連絡できる体制づくりを終り、それぞれ各委員の自主的方法にしたがつて、広報、募金活動が行われております。

3. 埼玉県では、学会役員が率先垂範広報、募金活動に協力され、募金は本年度と来年度でそのめどをつけることになっております。

以上国内広報委員会は、今世紀再び巡り来ることのない第9回 FIGO 東京大会に備え、これを成功させるため、広報、登録準備のすべてにわたって努力いたしております。そして全会員の1人1人に、この世界大会に対するご理解とご協力とが得られることこそこの大会を成功させる鍵となるものと考えております。

会員各位の積極的なご意見、ご助言を頂くようお願い申し上げます。

国内広報担当小委員会